



安積山

郡山市立日和田小学校

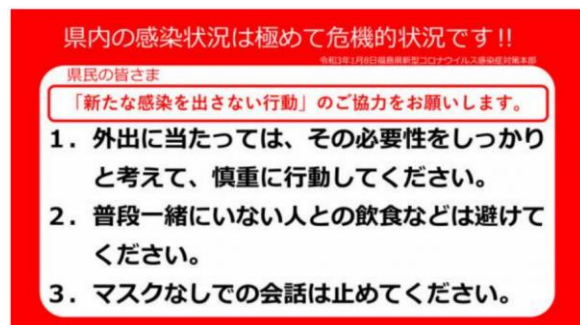
学校 便り No.58

令和3年1月12日

文責：校長 伊藤 孝行

福島県知事から1/8に出されたメッセージ

1月8日（金）に内堀福島県知事より、福島県の人々に以下のメッセージが出されました。



緊急事態宣言が出された**1都3県**については、**1月9日から2月7日までの間、不要不急の往來の自粛**が要請され、1都3県以外の感染が拡大している地域との往來についても、その必要性を慎重に判断するよう求めています。

1都3県に続き、大阪地区や名古屋地区でもそれぞれの知事が緊急事態宣言を出すよう国に要請しています。新型コロナウイルスの感染拡大を少しでも防ぐために、もう一度一人一人が何をすべきか考え実践していかななくてはなりません。

オンラインゲームのトラブルなどについて

外出自粛が重なると、おとなも子どももストレスがたまってきます。子どもの一番身近なストレス解消はゲームですが、ゲームを通して様々なトラブルが発生し問題になっています。

今回は、子どもたちに人気のある「フォートナイト」を例にトラブルについて述べていきます。

① CEROレーティング制度について

子どもたちが年齢に応じたゲームに楽しめるように、内容に応じて年齢制限があり、ゲームのパッケージ等に以下の表示がされています。



全年齢 12才以上 15才以上 17才以上 18才以上

おとなは、どのゲームにどんな年齢制限があるのかを理解し遊ばせる必要があります。

② ゲームを通して起きるトラブル

トラブルは、以下の5つに大別されます。

- ア 子ども自身の暴言「死ね、消えろ」など
- イ 仲間外れやいじめ等の人間関係トラブル
- ウ 高額課金（親のカードの無断使用）
- エ 長時間プレイによるゲーム依存の問題
- オ 知らない人とプレイすることでの個人情報漏洩や出会い系被害等

暴言やいじめ問題は、そもそも殺し合いをするバトルロイヤル系ゲームなので起きやすいことは理解すべきことです。また、チームプレイで生き残りをかけて争うため、下手だという理由でグループから「キック」されてしまい、これが、学校での仲間外れやいじめにつながる例もあります。



「課金」も問題になっています。無料で始めることができますが、キャラを固定したり強くしたりするためには「課金」が必要です。

「長時間化」も心配な点です。やめられなくなった子どもに理由を聞いてみたところ、「1位を取りたい。やられて悔しいからもう一度戦いたくなる」「友だちがいるから、途中でやめたり抜けたりしづらい」などと言っていました。チームで戦うからこそ途中で止めるのが難しいのです。

「知らない人とプレイすることでの個人情報漏洩や出会い系」で重大な被害が起きていることを知っておくべきです。子どもは、たとえ相手が知らない大人でも、一緒にゲームをしてボイスチャットで話すことで親しみがわき、友だちという感覚に陥ってしまいます。簡単に個人情報を伝えたり会いに行ったりします。**「知らない人」とゲームをすることは絶対に止めさせましょう。**

【ゲームと正しい付き合いをさせましょう】

- ① ゲームの年齢制限を知って子どもの年齢にふさわしいもので遊ばせましょう。
- ② 家庭内でルールを決め、決められたルールの中で遊ぶ。（時間や相手、課金等）
- ③ 知らない人とは絶対にゲームをしない。